

退職後の生活を顧みて

退職して3年を迎えようとしているので、退職前の生活と比べてみようと思う。

	退職前	退職後
生活費	毎月一定の収入があったが、社会保険、生命保険、住宅ローンの支払、単身赴任に係る生活費等があり可処分所得は今とかわらなかった。ただしボーナス分は余裕資金として旅行、貯蓄として使えた。	公的年金と個人年金、税理士業務の収入（必要経費の控除後）だけであり総収入は激減した。しかし社会保険、税金は少なくなり、住宅ローン、生命保険の支払いはなくなったので生活はできる。ただし余裕資金はないので旅行、貯蓄はできない

ストレス	税務の仕事であったので常にストレスと緊張感があった。	税理士業務の程よいストレスであり、過度の緊張感を味わうことはない。
生活時間	月曜から金曜まで朝早くから夜遅くまで時間に縛られ、自由時間は少なかった。ただし自宅に仕事の電話が入ることはほとんどなかった。	仕事はあるが、自分のスケジュールに合わせて行動ができる。そのため天気が悪ければ土日でも仕事をするが、天気が良ければ平日でもドライブに出かけられる。
家事労働	ほとんどできなかった。	時間の余裕があるので、結構している。 (させられている)
生活場所	目が覚めると、ここが家なのか宿舎な	目が覚めるところはほとんど家で確認の

	<p>のかホテルなのか いつも確認してい た。(単身赴任と出 張の多い生活なの で)</p>	<p>必要もない。</p>
人間関係	<p>転勤が多く、また 仕事でも名刺を月 に3～40枚ほど やり取りしてい た。</p>	<p>名刺はほとんど使う ことがない。人間関 係の変化がすくない ので。</p>
酒	<p>飲む機会が多く、 また義理呑みもあ った。(酒が好きで もあった(°Д°))</p>	<p>不義理をして無理を しない。(^^♪</p>
背広、ネクタイ	<p>土日以外毎日着て いた。</p>	<p>ネクタイをしたこと がない。楽である。</p>

以上思いつくまま書きました。